

目 次

— 論 文 —

奈良市市街地東縁部におけるセミの抜け殻分布から推測したセミ幼虫の生息環境

二反田 爽一郎, 辻野 亮…………… 1

教員養成大学における防災教育の効果的な学習方法 —防災教育に関するアンケート調査と「学生防災会議」の企画・運営からの一考察—

香川 栞理, 立松 麻衣子, 石田 正樹……………11

— 実践報告 —

防災教育ワークショップ2018教育実践報告「防災野外体験活動」～もしも大学が避難所になったら!?～

石田 正樹, 辻野 亮, 松井 淳, 鳥居 春己, 立松 麻衣子……………25

— 資 料 —

台風で落下した半寄生樹木オオバヤドリギの乾燥重量データ

辻野 亮, 松井 淳……………37

奈良教育大学自然環境教育センター紀要投稿規定

……………43

奈良教育大学自然環境教育センター紀要投稿規定

2016年12月1日改訂

編集方針：自然環境教育センター紀要は、奈良教育大学自然環境教育センターが定期的に刊行する和文の研究・教育・情報誌であり、自然環境に関する研究と教育およびそれらの発展と普及を図ることを目的とする。

原稿の種類と内容：原著論文、短報、総説、報告、実践報告などで、同著者が過去に公表した論文等とは異なるものでなければならない。

投稿資格：投稿は奈良教育大学関係者に限るが、共著者に他組織を含むことができる。共著者に本学関係者が含まれる場合、筆頭著者が本学関係者ではなくとも構わない。編集委員会が寄稿を依頼した場合はこの限りではない。

受付：投稿原稿が下記の規定に適合した体裁で、直ちに印刷できる状態にあるものに限る。

校閲：受け付けた論文、短報、総説および報告の原稿は、原則として複数の校閲者により校閲される。その結果をもとに、編集委員会は掲載の適否を決定する。

論文の内容に不十分な点が見出された場合、編集委員会は投稿者にその旨を知らせ、修正を求める。修正の期日等は投稿者と編集委員会と協議するものとする。複数の校閲者が掲載不相当と認めた場合には、編集委員会は理由を付けてその原稿を投稿者に返却する。なお、英文で投稿の際には事前に英文校閲を受けておく。

原稿の投稿方法：原稿は印刷体の投稿とし、校閲を受けて受理された最終原稿は電子ファイルを作製し、電子メールにより編集長宛に送信する。ファイルの内容は以下のものとする。

- (1) 本文と図の説明文の Word ファイル
- (2) 図の EPS ファイルあるいは JPG ファイル
- (3) 表の Excel ファイルあるいは Word ファイル

原稿は、縦長A4判用紙に横書きとし、11ポイント以上のフォントを用いてダブルスペースで印字する。用紙の周囲には2.5cm以上の余白をとる。句読点は「。」、「、」を用いる。

原稿の構成：校閲を受ける原稿は第1ページに表題、著者名、所属、英文による表題、著者名、所属、郵便番号と住所を記載する。つづけて、責任著者の氏名とメールアドレスを書く。次ページ以降に和文要旨、Abstract (200語以内)、Keywords (5つ以内)、本文、謝辞、引用文献、図表の説明、図表の順に書く。これら原稿の第1ページから最終ページまで通しページ番号を付ける。なお、英文については省くことができる。

ページ数の制限：原著論文の長さは刷り上り10ページ以内(1ページ2,000字程度)、総説は16ページ以内、意見および学術情報は6ページ以内とする。これを超過するものは、編集部との協議の上で掲載を認める場合がある。

校正：著者校正は2校までとし、原則として印刷ミスについて行う。本文や図、表の変更は極力さける。

別刷：50部単位で注文することができ、実費は全額著者負担とする。

小見出し：区分けの小見出しは左端によせて書き、ゴシック体の指定(下に波線)をする。

注釈：第1ページで表題に関する注釈などを付ける場合を除き、脚注は原則として用いない。研究費補助金(課題番号)などを受けたことを注記する場合は、謝辞の中で述べる。

学名：学名は国際動物命名規約に従い、原則としてタイプし、イタリック体の指定(下線)をする。最初に用いた和名には学名を必ず付ける。

欧文の文字：原稿中のローマ字は、原則としてタイプする。欧文の人名は通常のローマン体とし、第1文字のみを大文字とする(スモール・キャピタルは用いない)。

文献などの引用：本文中での文献の引用は、「鈴木・田中(1971)…」、「…(Denning 1952 a, b).」、「Weinreb and Sharav 1964; Erickson et al. 1970」などとし、出版年の順に並べる。著者が3名以上の文献の場合には、第2著者以下を「ほか」または「et al.」とする。

引用文献：引用文献表には、本文中で引用した文献をすべて列記し、引用文献表に列記した文献はすべて本文中で引用する。引用文献表では、本文中で「ほか」または「et al.」と省略した人名もすべて列記する。配列は著

者名のABC順とする。第1著者が同じ場合には、単独の著者名を西暦年順にはじめに置き、第2著者の著者名のABC順であとに続ける。

すべて同一著者の場合には西暦年順に置き、同一著者で同一年の場合には西暦年のあとに小文字アルファベットを付けて区別する。著者が3名以上で第1著者が同じで同一年の場合も西暦年の後に小文字アルファベットを付けて区別する。

引用文献表はつぎの形式を参考にしてつくる。

○雑誌からの引用 <著者名(発行年) 表題. 雑誌名, 巻: 初頁-終頁.> 著者名は姓が先、名を後とし、間に半角スペースを入れる。著者名間は半角コンマとスペースで区切る。

鈴木 一憲, 永井 広, 稲垣 晴久, 玉手 英夫 (1986) 霊長類の胃粘膜に関する比較形態学的研究. 哺乳動物学雑誌, 11: 45-55.

Weinreb MM, Shrivab Y (1964) Tooth development in sheep. American Journal of Veterinary Research, 25: 891-908.

○単行本の引用 <著者名(発行年) 表題. 出版社, 出版社所在地.>

山田 剛史, 杉澤 武俊, 村井 潤一郎 (2008) Rによるやさしい統計学. オーム社, 東京

コルバート EH, モラレス M (1994) 脊椎動物の進化(田隅本生 監訳)[原著第4版]. 築地書館, 東京.

Williams O (1981) Island Population. Oxford University Press, Oxford.

○単行本から一部を引用 <著者名(発行年) 表題. (単行本著者名) 単行本表題, 初頁-終頁. 出版社, 出版社所在地> <Author (year) Title. In: Author of book, Book title, first page-end page. Publisher, City>

樋口 広芳 (1984) 種分化と資源分割. (森岡 弘之・中村 登流・樋口 広芳 編) 現代の鳥類学, pp. 216-236. 朝倉書店, 東京.

Geist V (1982) Adaptive behavioral strategies. In: Thomas JW, Toweill DE (eds.). Elk of North America, pp. 219-277. Stackpole, Harrisburg.

ただし、邦訳書名の記載はその邦訳書のみを参照した場合に限る(原著は記載しない)。Webサイトからの情報の引用は、他に同様の情報源がなく、どうしても必要な場合に限る。引用する場合は、「～である(URL: <http://～>, 2013年12月12日確認)」のようにURLと引用の日付を明記する。

表: 表は1ページ内に印刷できる大きさを考慮し、縦線は原則として使わず、1点ずつ別紙に作成する。表の説明は英文でもよく「表1. …」または「Table 1. …」のようにして表の上を書く、1点のみでも「表1.」または「Table 1.」とする。本分中に挿入箇所を朱書きで指定する。

図: 図(写真を含む)は、印刷体での投稿の場合には、印刷時の1~2倍(長さ)の大きさにして、そのまま製版できる状態に仕上げ、1点ずつ別紙に作成する。写真は光沢平滑印画紙に焼き付ける。図の説明は英文でもよく、「図1. …」または「Fig. 1. …」のようにして別紙にまとめる。1点のみでも図1またはFig. 1とする。原図の裏面あるいは右上端には著者名と図の番号を記す。カラー写真の掲載は、原則として製版・印刷代の全額を著者負担とする。本分中に挿入箇所を朱書きで指定する。

単位と記号: 単位はメートル法による。単位の略記や記号などの記入例: 長さ km, m, cm など; 面積 ha, km² など; 体積 m³, ml など; 重さ kg, g, mg など; 時間 hrs, sec. など; 統計 CV, P, F, など; その他 J (ジュール), pH, % など

なお、自然環境教育センター紀要への投稿分野は多岐に渡ると予想されるため、体裁や引用文献の省略、巻号の扱いその他について協議の余地を残す。